

みなさんこんにちは。寒さがどんどん厳しくなってきましたね。世間はインフルエンザの予防接種が不足していると騒がれていますね。今年もインフルエンザになることなく冬を乗り越えられるか不安です。

それはさておき、ドラマ「コウノドリ」観ていますか？産科を舞台にした漫画原作のドラマを毎週金曜日に放送していますね。私は前回のシーズンからの大ファンで、漫画も全部読んで、さらにドラマを録画して2回ずつくらい観ています(笑)ドラマに出演しているNICU(新生児集中治療室)の小さい赤ちゃんたち。本物の赤ちゃんたちが出演しているので、仕事モードから解放された状態で見ていると気が緩んでいるので、赤ちゃんたちの頑張っている姿にウルツとしてしまいます。ドラマで描かれているママたちの思いも医療者側の思いも私は両方わかるので、複雑な気持ちになることもあります。ですが、ママや家族はどんな思いでお産に臨んでいるか、どんな気持ちで妊娠生活を過ごしているのか勉強になることもあります。今月末も漫画の最新刊が出るそうで・・・発売当日にゲットしたいと思います。

今月号ではママからの許可をいただきました。赤ちゃんを1人紹介したいと思います。

若いママから産まれたほっぺたもちもちのかわいい女の子です。ママに抱かれて満足そうに眠っています。写真を撮ったのは生後4日目。ママのおっぱいもたくさん出てくるようになって、ごくごく音を立てて飲んでいきます。たくさん飲んで、寝て、うんちして泣いて、また飲んで・・・なんて幸せな生活でしょう。でもその裏では夜中に眠い目をこすりながらも必死に授乳をするママの努力。汐見台病院の助産師の中で末っ子の私よりも年下なのに、ママとしてしっかり育児しているその姿は本当にえらいなく感じます。頭が上がりません。そんなママたちを私たちは全力でサポートしていきたいと思います。育児頑張ってくださいね。



◆ドライケアについて

当院ではドライケアを導入しています。ドライケアとは、毎日沐浴せず、当院では生後5日目に初めて沐浴を行います。それまでは主にお着替えのみになります。ドライケアを行う意味は①胎脂を残すことができる。(赤ちゃんに付着している白い脂肪のこと。細菌から守ってくれたり、体温保持に役立ちます。)②羊水を洗い流さない。(羊水のおいを残すことで、子宮内↓子宮外という急激な環境変化へのストレスを軽減することができ。)③体力の消耗を防ぐ。(沐浴は赤ちゃんにとって体力を激しく消耗する日常生活行動。その時の体力を授乳で使うことができる。)④お臍の乾燥が早い。(乾燥が促され、化膿することも少なくなる。)など様々なメリットがあります。ドライケアに関する文献を読んでもみると、「においが気になる」や「胎脂が付着していることへの抵抗感がある」などはほとんどありません。むしろ少し甘いような、いい匂いがします。もちろん、強制ではないのでママから沐浴の希望があれば、毎日行うこともできます。

◆編集後記

今月の妊婦さんたちはパワーが多い人が多かったです。来院から30分程度でお産になったり、陣痛室に寄ることなく、分娩室に直行する人など・・・超スピード出産なのはママは楽かもしれませんが、私たち助産師はそのスピード感についていくために実は必死です(笑)



担当 郷原